

## C O N T E N T S

- 連載：「私とオーディオの出会い」 Vol.7 会長 小川 理子 P3
- 【OTOTEN 特集】
  - ・ OTOTEN2019 開催報告 展示会実行委員会 委員長代理 末永 信一 P5
  - ・ OTOTEN2019 映画を聴こうプロジェクト報告 副会長 猿谷 徹 P13
  - ・ OTOTEN2019 カーオーディオ体験コーナー報告 P17
    - カーオーディオ専門委員会 嶋宮 英昭
  - ・ OTOTEN2019 音のサロン報告 音のサロン委員会 委員長 今 裕実 P22
- 復活後の Technics ターンテーブル開発のあゆみ P27
  - パナソニック (株) スマートライフネットワーク事業部
  - 志波 正之
- 欧州のトーンマイスター教育について 3 P35
  - 名古屋芸術大学 芸術学部
  - 音楽領域 サウンドメディア・コンポジションコース 長江 和哉
- 【JAS インフォメーション】 P50
  - 2019 年 通常総会報告 (6月12日開催)
  - 2019 年度 第 2 回 (6月) 理事会・運営会議報告
- 編集後記 編集委員 細谷 耕佑 P51

### 7月号をお届けするにあたって

各地より梅雨明けの知らせが届き、また今年も連日 35℃ 近くの猛暑の季節がやってきました。振り返ればちょうど 1 月前に OTOTEN2019 が開催され、早くもひと月が経ったこととなります。今年は 6/29、30 の開催両日とも、外はあいにくの雨模様で少し肌寒い感じではありましたが、毎年駆けつけていただける熱心なファンに加え、音響芸術専門学校の学生インターン 85 名によるコンシェルジュの活躍もあり、東京国際フォーラムは例年以上の熱気に包まれていた印象です。

さて今月号は、この OTOTEN2019 関連の報告 4 件を中心にお送りします。また、パナソニック (株) の志波様からは、数多くのファンの声にこたえて復活した、Technics ターンテーブルの開発過程を、貴重な情報満載の詳解説記事を頂くことができました。さらに名古屋芸術大学の長江先生からは、2016 年 3、5 月号に続き、欧州におけるトーンマイスター教育発祥の地ともいわれる、ドイツ・デトモルト音楽大学の教育課程について、インタビューを交えた解説を頂くことができました。マイスターたちの確かな技術の裏付けとなる精緻な教育体系を知ることができ、大変貴重な内容になっています。また、小川会長の連載も第 7 回目となりました。私も毎晩ラジオを聴きながら受験勉強をした世代ですが、あのころの事が目のまえによみがえってくる気がしました

しばらく暑い日々が続きますが、皆さまお身体にはお気をつけてお過ごしください。